

埼玉トヨペット Green Brave



2021 RACE REPORT

AUTOBACS SUPER GT Round 1

たかのこのホテル 岡山 GT300kmレース

2021年4月10日(土)~11日(日)

岡山国際サーキット(岡山県美作市)

#52 埼玉トヨペット GB GR スーブラ GT

■ ■ ■ ■ 絶好のタイミングでピットインを行うも悔しい3位 ■ ■ ■ ■

SUPER GTの2021年シーズンが岡山で開幕しました。埼玉トヨペット Green Braveは2年目のGR スーブラ GTをGT300クラスに投入。ドライバーは吉田選手と川合選手のコンビです。予選日の天候は晴れ。午前中に行われた公式練習では吉田選手、川合選手の順に走行し、セッティングの確認と予選で使用するタイヤの選択を行います。タイムは吉田選手がマークした1分26秒051。トップと僅差の2位につけており、まずは順調な滑り出し。ノックアウト予選(Q1B組)のドライバーは川合選手。川合選手は3週のウォーミングアップの後、4周目に1分25秒987をマークし、堂々の2位でQ1を突破します。Q1の約25分後に行われたQ2。吉田選手は最初のアタックで1分25秒362のトップタイムをマーク。昨年の最終戦に続く2戦連続のポールポジションと思われましたが、残り2分で#11GT-Rがわずかに逆転。惜しくも2位となりました。

決勝日の天候は晴れ。気温は週末を通して一番高く、どのチームもタイヤマネージメントに神経をつかいながらの決勝に。2周のフォーメーションラップの後、82周のレースがスタート。2番手スタートの川合選手はアウト側から1コーナーに進入。トップの#11GT-Rに続いてホームストレートに戻ってきます。川合選手はコーナーが速く、#11GT-Rの背後にピタリとつけますが、直線で離されてしまい、抜くことができません。3位の#56GT-Rはやや離れ、#11GT-Rと川合選手がレースをリード。6周目にGT300のマシンがヘアピンでストップし、セーフティカー(SC)が導入されます。ホームストレート上でクラス別に分けられ、11周目からリスタート。川合選手は1秒以下の差をキープし、#11GT-Rにプレッシャーをかけますが、仕掛ける隙はなく、レースは淡々と進行します。ところが30周目、GT300のマシンが1コーナーでクラッシュ。スポッターの平沼がいち早く気づき、ピットインの指示をチームに送ります。川合選手は後半セクターを走行しており、ドンピシャのタイミングでピットイン。吉田選手に交代し、店舗メカニックが給油とタイヤ交換を行います。今年初めての実戦でのピット作業となりましたが、作業自体はスムーズに終了。しかし、ピットに入ってきた別のマシンが吉田選手の進行方向を塞いでしまったため、マシンを後ろに押す必要が生じ、大きくタイムをロス。翌周にピットインを行った#56GT-R、#65AMGが吉田選手の前をかすめるようにコースに復帰し、ピットインでの逆転はなりません。38周目からリスタート。43周目に先頭のマシンがピットに入り、吉田選手は3位に浮上します。1位は#56GT-R、2位は#65メルセデス AMG。1位の#56GT-Rから4位の#11GT-Rまでが1列でつながっており、吉田選手は#65AMGの隙を狙いますが、直線で離されてしまい、前に出ることができません。吉田選手は3位のままチェッカー。2年連続の開幕戦Vを達成することはできませんでしたが、表彰台の一角をキープ。チャンピオン獲得に向けて、順調なスタートをきりました。

決勝結果 (GT300)

#52 埼玉トヨペット

Green Brave GR スーブラ GT
(吉田広樹/川合孝汰)

決勝：3位

(77周、2時間07分22秒412)

予選：2位

(Q2：1分25秒362)

GT300 決勝結果

順位	車名(車両)	周回数
1位	リアライズ 日産自動車大学校 GT-R (日産 GT-R NISMO GT3)	77
2位	LEON PYRAMID AMG (メルセデス AMG GT3)	77
3位	埼玉トヨペット GB GR Supra GT (トヨタ GR スーブラ GT)	77
4位	GAINER TANAX GT-R (日産 GT-R NISMO GT3)	77
5位	TAKANOKONOUYU GR Supra GT (トヨタ GR スーブラ GT)	77
6位	K-tunes RC F GT3 (レクサス RC F GT3)	77

天候：曇、路面：ドライ ※トップ6まで(出走29台)



DRIVERS VOICE

吉田広樹選手



(予選後) ちょっとひやひやした予選アタックでした。チームがちょっとずつクルマをアジャストしてくれて、テストから順調にきていました。チームにポールポジションをプレゼントしたかったのですが、戦える位置からスタートできるので、明日にとっておきます。満点ではないですが、自分の中ではいいアタックができたのではないかと思います。いい感触はありますが、油断せずにはっきり準備したいと思います。

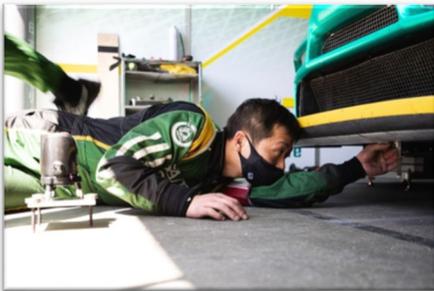
(決勝後) 長かったですね、疲れしました。ぼくの乗り始めからチェック一まで1位から4位までが見えていました。クルマによって速いところと遅いところが異なり、GT500や周回遅れと交錯するタイミングでしかかけられればと思っていたのですが、ライバルはチャンピオン経験者や表彰台の常連ばかりで、すきはなかったですね。取りこぼしなく表彰台に登れたのは最低限のラインだと思います。

川合孝汰選手



(予選後) 公式テストからクルマのセットをかなり変えました。以前の岡山公式テストの方向に戻したのですが、この中であのタイムだったので良かったですと思います。3台のGR スーパ GT が上位にいて、スーパ祭りですね。うちが3台の中で一番前にいなければいけないと思います。そのポテンシャルはあるので、なるべく前で終わりたいなと思います。

(決勝後) 11号車の安田選手が要所所をおさえてきました。うまいですね。こちらはタイヤの余裕はなかったですし、無理もできませんでした。平沼さんの無線、ダブルヘアピンに入るぐらいで飛んできて、ドンピシャのタイミングでした。準備もできたので、ありがたかったです。ライバルの後ろを走っているとエンジンの温度もきついですし、ライン上をうまく走れないというのがあるのですが、ついていけず、後ろは離れていきました。



チームランキング GT300

順位	ゼッケン	チーム名	ポイント
1位	56	KONDO RACING	23
2位	65	K2 R&D LEON RACING	18
3位	52	埼玉トヨペット Green Brave	14
4位	11	GAINER	11
5位	244	Max Racing	9
6位	96	K-tunes Racing	8

トップ6まで



PARTNERS



アルパインマーケティング株式会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



株式会社 Team lwakiri Japan



埼玉スリーボンド株式会社



株式会社 TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY



トヨタモビリティパーツ株式会社



株式会社 ドーム



株式会社デイトナ・インターナショナル



株式会社ハッピーライフ彩生

※50音順

第2戦は5月3日～4日 富士スピードウェイ (静岡県)